

整理番号	25-8	事務事業名	緑の活動拠点整備事業	作成部署	建設部都市整備課	電話	内線778
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	部長職名	加戸 博史	課長職名	相馬 正人	作成日	平成21年5月26日
事務事業開始年度	H17	根拠法令等					
〃 終了予定年度							

【1 計画（プラン）】

上位施策との関連 (総合計画体系)	(第2章)	環境と共生する快適なまち
	(第1節)	自然と緑と公園
	(第1施策)	自然・緑の保全と育成
目的	対象 (誰、又は何を)	市有林管理棟ほか(富ヶ岡地区)
	意図	※ 何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか。 市民植樹祭の開催、中学生の林業体験学習、森林ボランティアの活動の場として、多くの市民が親しみ憩うことのできる森づくりを目指す。 建物については作業場などとして、有効活用を図る。
手段	平成20年度まで	※ 市が行った事務事業(団体補助等の場合は、その補助金による団体の活動内容) ・市民植樹祭 ・林業体験学習 ・森林ボランティアグループによる苗畑整備
	平成21年度	※ 市が行う事務事業(団体補助等の場合は、その補助金による団体の活動内容) ・市民植樹祭 ・林業体験学習 ・森林ボランティアグループによる苗畑整備 ・森林居住環境整備事業全体計画調査

【2 実施（ドウ）】

(単位：千円)

【事業費の推移】		19年度決算	20年度決算	21年度予算	22年度の予定
直接事業費	国支出金			5,000	
	道支出金				
	地方債			4,500	
	その他特財				
	一般財源	179	1,002	653	153
	① 合計	179	1,002	10,153	153
人件費 (概算)	② 人数(年間)	0.50	0.50	0.50	0.50
	③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	④ =②×③	4,500	4,500	4,500	4,500
総事業費 ①+④		4,679	5,502	14,653	4,653

【事務事業を評価する指標(ものさし)】		指 標 値				
	指 標 名	単位	目標値	20年度(確定値)	21年度(予定値)	22年度(予定値)
基本指標	整備面積	ha	12.35	1.11	0.75	2.00
	(整備済み累計面積)			1.35	2.10	4.10
活動指標	① 植栽(市民植樹祭など)	回	2	2	3	2
	② 苗畑の整備面積	m ²	600	600	600	600
	③ 森林体験学習	回	3	3	3	3
	④ 建物の利用団体数	団体	3	3	3	3
成果指標	① 植栽面積	ha	0.12	1.11	0.75	0.12
	【指標の定義(算式等)】					
	② 森林ボランティアマイブール活動日数	日	45	43	45	45
	【指標の定義(算式等)】					
	③					
	【指標の定義(算式等)】					

【3 評価（チェック）】

チェック項目		評点	平成20年度における評価（現状と課題）
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か（目的妥当性の度合） 行政が関与しなければならない事務事業か（公共性・公益性の度合） 	4	緑や森林の保全及び整備を市民の参加を得て実施するための活動拠点として、市民が学習、交流できる場所を整備する本事業は、豊かな自然と緑を育成していくために必要な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標値から見て、目標の達成度はどの程度か（達成度合） 目的を達成するための手段（実施方法）は有効か（手段有効度合） 	4	ボランティア団体が圃場で育てた苗木を活用し、市民植樹祭や中学生の林業体験学習を実施している。また、国の補助制度を活用し、造林事業を施行した。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 投入した予算や人員に見合った効果が得られているか（費用対効果の度合） 効率的な方法で実施しているか（同じ経費でもっと効率的な方法はないか） 	4	市民やボランティア団体等により推進されており効率的である。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか 	4	受益者負担にはなじまないが、誰でもが利用できる整備を目指しており、公平性のある事業である。
評点区分	4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切		

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】 法律の義務付けあり 法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】（事業担当部局が評価）

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等で実施または協働して取り組むべきである。

現在一部民間等で実施している。または市民等と協働して実施している。

【参考】	事務事業担当部局による評価	外部評価委員会による評価	内部評価委員会による評価
前年度の総合判定	現状継続	—	現状継続

【4 総合判定と今後の方向性（アクション）】

【外部評価】（外部評価委員会による評価）	
総合判定（方向性）	<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する意見	

【自己評価】（事務事業担当部局による評価）	
総合判定（取組）	<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 終了
平成22年度に向けた具体的な取組（課題と解決方法等）	
市民による林業体験、森林ボランティアの活動の場であり、また家屋・倉庫については資材の保管や作業場として利用し、緑化センター機能を視野にいれながら活動の拠点として、整備に努める。	

【内部評価】（内部評価委員会による評価）	
総合判定（方向性）	<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 終了
平成22年度に向けた具体的な方向性	